

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第70号	
事故等種類	定置網損傷	
発生日時	平成20年5月13日 04時30分ごろ	
発生場所	岩手県大船渡港付近 (概位 北緯38°59.4′ 東経141°45.2′)	
事故等調査の経過	平成21年6月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 輝王 <sup>きおう</sup> 、499トン	
船舶番号、船舶所有者等	140653、脇坂海運株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	定置網のワイヤーロープ切断及び網損傷、船首部塗料はく離	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、北海道苫小牧港へ向け航行中、台風避難のため大船渡港に入港することとしたが、平成20年5月13日04時30分ごろ、大船渡港大浜地域の定置網に乗り入れた。</p> <p>船長は、定置網に乗り入れたことに気付かずに通過し、その後、釜石海上保安部からの連絡で本事故を知り、事後の措置にあたった。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 北東、風力 2、視界 良好</p> <p>海象：うねり 約1.5m</p>	
分析	乗組員等の関与	あり
	船体・機関等の関与	なし
	気象・海象の関与	なし
	判明した事項の解析	本船は、大船渡港付近を航行中、船位の確認を適切に行わなかったため、定置網に乗り入れたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が大船渡港付近を航行中、船位の確認を適切に行わなかったため、定置網に乗り入れたことにより発生したものと考えられる。	